

当科で診療を受けられたみなさまへ

掲示日：2021年9月10日

1981年以後に、当病院の小児科・新生児科で、ヒト免疫不全ウイルス陽性の女性から出生した児で、診療を受けられた方の健康状況、出生前後の情報について診療録に記載された診療情報から調査に使用させていただきます。研究期間は、2024年8月までです。

本疾患は全国でも症例が少なく、全国調査を行うことでわが国の実情が明らかとなり、今後の皆様の診療に役立つものと考えています。

個人が特定されることが出来ないようにして調査結果をまとめます。

もし、疑問や質問等がある方はお寄せ下さい。

また、この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。

HIV 感染妊婦から出生した児の実態調査

研究代表者：国立国際医療研究センター小児科医師 田中瑞恵

この研究は、研究責任者の属する施設の倫理審査を受けています。

この研究は、厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化のための研究」班（主任研究者：喜多恒和）内の分担研究「HIV感染女性と出生児の臨床情報の集積と解析およびウェブ登録によるコホート調査の全国展開」班（分担研究者：田中瑞恵）として行っています。

国立国際医療研究センター病院

担当：小児科医師 田中瑞恵

東京都新宿区戸山1-21-1

03-3202-7181（代表）